

図-2

① 遠隔医療学会の協力のもと様々なスタークフォルダーによる研究会の開催

令和6年度 厚生労働科学研究費
地域医療基盤開発推進研究事業

パーソナルヘルスレコードを活用した診療
(オンライン診療中心とした)における
行動変容に関する研究

**PHRの利活用による行動変容と社会実装に向けた
研究討論会**

開催日 2024年11月10日(日) 14:00~15:00
場所 岡山コンベンションセンター 3F 302会議室
オンライン参加の場合:
Zoom ミーティング ID: 875 4138 5268
<https://kanazawa-university.zoom.us/j/87541385268?pwd=W8dUF1Kvna57OrUcyR0ZMI5Mena5B.1>

進行予定

- 14:00 開会の辞 米田 隆 (研究代表者)
- 14:03 パーソナルヘルスレコード(PHR)の国内外の動向
進行: 米谷 充弘 (口演4分)
演題1 PHRに関する国内外のエビデンス
西山 司紗さん / Xurong Mai 先生 (金沢大学)
- 14:11 PHRの利活用に関する臨床研究
進行: 米谷 充弘 (口演5分)
演題2 持続血糖測定器を用いたオンライン食事指導による内臓脂肪減少効果について: 門野 真由子 先生 (金沢大学)
演題3 IoT・アプリを用いた生活習慣病に対するオンライン保健指導サービスの構築と行動変容への検証研究: 野田 佑子 先生 (金沢大学/株式会社CureApp)
- 14:21 特別講演
座長: 米田 隆 (口演12分、質疑2分)
演者: 池田 香織 先生 (京都大学)
- 14:35 PHRの社会実装に向けた意見交換会
ファシリテーター: 米田 隆
参加予定: 自治体(石川県)、企業(株式会社ハイメディック、株式会社FitLinX)などの関係者

お問い合わせ先: 金沢大学未来型健康増進医学
〒920-8640 石川県金沢市宝町13番1号 3棟2階)
TEL: 076-265-2778
E-mail: mkome@med.kanazawa-u.ac.jp

中国の状況: **ヘルスケアプラットフォームには「インターネット病院」「アリヘルス」**、「WeChat」、「平安グッドドクター」

IoT デバイスを用いたアプリの導入は、一部の指標改善に効果があり、保健指導や医療に有用、効果は継続率に依存する⇒効率的な介入方法の研究の必要性

アプリ導入における医療者の負担の問題

PHR 活用の障壁: PHR を見るだけでは効果がない一群の存在

R6 能登地震における応用: 石川県医師会、石川県、厚労省、金沢大学、企業の産官学の連携連携活動: **DC-CAT**、NTT ドコモ震災支援

図-1 と図-2の論文を一つにまとめReviewとして英語論文に投稿中
「Impact of Personal Health Record Use on Behavioral Change: A Literature Review」